

# 津波対策

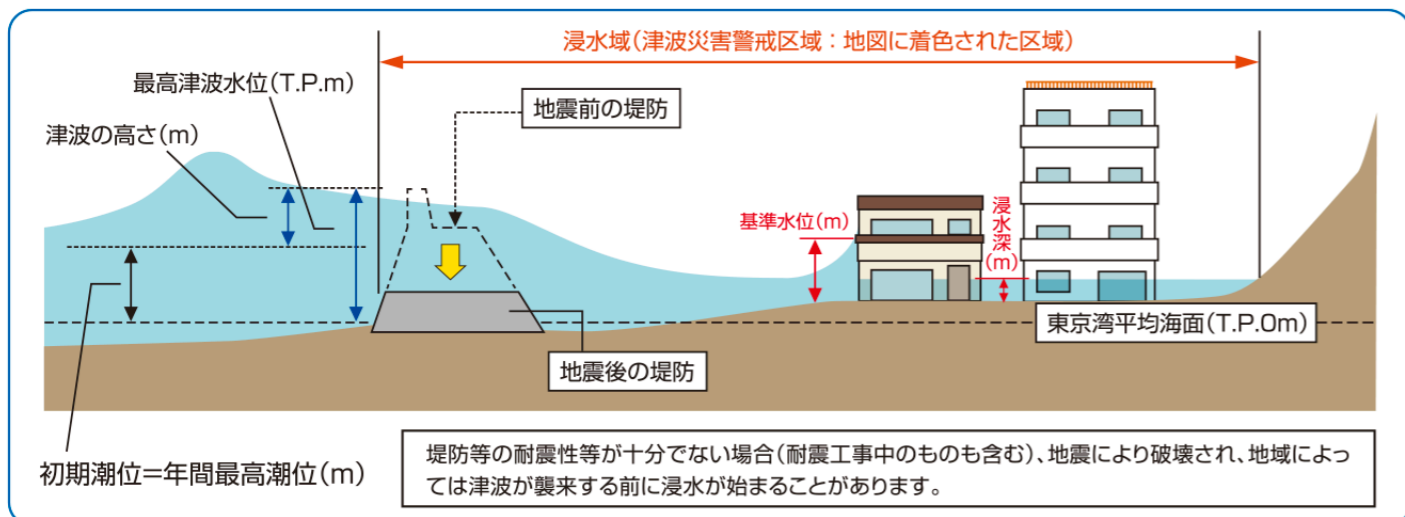
## 津波による浸水想定

津波浸水想定区域は、南海トラフ巨大地震によって、津波が発生した場合に想定される浸水状況を示した広島県の資料に基づいて作成しており、想定される浸水の深さを色分けしています。

また、想定される浸水状況は次の悪条件下を前提に計算条件を設定し、浸水シミュレーションを行っています。

### 悪条件下

- ◆ 初期潮位は、年間最高潮位として設定しています。
- ◆ 地震による地盤の沈下を考慮しています。
- ◆ 構造物については、護岸や防波堤は機能せず、堤防は地震前の25%の高さまで沈下するものとして設定しています。なお、堤防については、津波が越流した場合、破壊されるものとしています。



### 浸水域

海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

### 津波災害警戒区域

最大クラスの津波が発生した場合に、住民等の生命、身体に危害が生じるおそれがある区域で、津波災害を防止するために警戒避難体制を特に整備すべき区域

### 浸水深

陸上の各地点で水面が最も高い位置にきたときの地面から水面までの高さ

### 基準水位

浸水深の水位に、建築物等への衝突による津波の水位上昇(せり上がり)を加えた水位

### T.P.

東京湾平均海面からの高さであり、標高、海拔と同じ

### 標高5m等高線

標高の目安として表示したものであり、5mより高い所の人は避難しなくてもよいというものではありません。

4~5m未満	津波災害警戒区域 (基準水位)	4~5m未満
3~4m未満		3~4m未満
2~3m未満		2~3m未満
1~2m未満		1~2m未満
0.3~1m未満		0.3~1m未満
0.1~0.3m未満		0.1~0.3m未満
5	等高線	5m

## 大津波警報、津波警報又は津波注意報の発表基準

津波による災害の発生が予測される場合に、地震が発生してから約3分後を目標に以下の警報や注意報が発表されます。

種類	予想される津波の高さ			想定される被害と取るべき行動
	予想区分	数値での発表	巨大地震の場合の表現	
大津波警報	10m	10m超	巨大	木造家屋が全壊・流出し、人は津波による流れに巻き込まれます。沿岸部や川沿いにいる人は、直ちに高台や丈夫な3階以上の建物など安全な場所へ避難してください。
	5~10m	10m		
	3~5m	5m		
津波警報	1~3m	3m	高い	標高の低いところでは津波が襲い、浸水被害が発生します。人は津波による流れに巻き込まれます。直ちに高台や丈夫な3階以上の建物など安全な場所へ避難してください。
津波注意報	0.2~1m	1m	なし	海の中では人は早い流れに巻き込まれ、また、養殖いかだが流出し小型船舶が転覆します。海の中にいる人は、直ちに海から上がって、海岸から離れてください。

## 避難時に注意すること

### 海岸近くで地震を感じたら直ちに高い所へ避難!!

強い地震(震度4以上)や、長い時間の揺れを感じたら、直ちに海岸から離れ、急いで高台などの安全な場所へ避難しましょう。

### 津波は繰り返し襲ってきます!

第1波よりも第2波、第3波の方が高くなる場合があります。荷物を取りに戻ったり、様子を見るために海岸へ近寄ってはけません。

### 揺れが小さくても油断しない!

揺れが小さくても津波が来ないとは限りません。震源の位置や津波注意報など、正確な情報を収集しましょう。

## 竹原市で予想される「津波が発生する地震」

地震の種類	最高津波水位		津波影響開始時間	最大津波到着までの時間
	T.P.	うち津波の高さ		
南海トラフ巨大地震	3.1m	1.3m	20分	347分
瀬戸内海域活断層等で発生する地震	2.4m	0.4m	18分	140分

◆ 最高津波水位：海岸線における最高の津波水位を標高で表示

◆ 津波影響開始時間：海域を伝播してきた津波により、おおむね海岸線において、地震発生後に初期潮位から±20cmの変化が生じるまでの時間

### 海拔表示板

竹原市では、公共施設等に海拔表示を設置しています。本市に到達するとされている津波の最大高さ(海拔3.1メートル)と海拔表示に記載された高さを比較することで、その場所の浸水深を判断する目安になります。

海拔表示板周辺の地盤の高さを把握し、周辺にある高台などの安全な場所を普段から確認しておきましょう。



竹原市民館津波表示板

